

フィッチ・レーティングス、ニッシン債権回収株式会社の コマーシャルモーゲージ・スペシャルサービサー格付及び アセットバクト・スペシャルサービサー格付を据え置き

東京/ロンドン/シドニー 2005年12月28日：フィッチ・レーティングス（「フィッチ」）は、ニッシン債権回収株式会社（「ニッシン」）のコマーシャルモーゲージ・スペシャルサービサー格付を「CSS3+（JPN）」に、アセットバクト・スペシャルサービサー格付を「ABSS2-（JPN）」にそれぞれ据え置いた。本格付はニッシンの経験豊富な経営陣及び回収担当者、親会社ニッシンからの様々な支援、急速に増加する業務量に対応した部署の新設と従業員の増員などを反映している。

一方で懸念事項として、回収部門では定期的な研修が行われているものの、従業員が増加しており、組織だった研修の実施が望ましいこと、また、経営陣は安定的で経験豊富であり、かつ従業員の雇用は順調に進んでいるものの、会社全体では離職率が比較的高いことが挙げられる。

また、ニッシンは業務量の増加による市場リスクと業務負担の上昇には、厳格な引当金ルールの適用と債権受入部署の新設で、更に、長期化する回収期間と上昇しつつある債権購入費用には、デューディリジェンスと回収能力の向上のため、経験豊富なスタッフを雇用することで対応を図りつつある。

フィッチは特に競争が激しく変化する市場環境の中で同社がリスクと業務負担をどの様に管理していくか引き続き注目していく。

ニッシンは大手ノンバンク、株式会社ニッシンの子会社（株式保有率は75%）で、昨年9月に日本のサービサーとしては唯一東京証券取引所のマザーズに上場している。2001年7月に設立され、同年10月に法務省よりサービサーの許可を得て以来、無担保・担保付債権の回収業務を行ってきており、設立後2005年3月末までに23,000件、約1兆7,870億円の債権を取り扱っている。

フィッチは、コマーシャルモーゲージ・プライマリーサービサー（CPS）、マスターサービサー（CMS）及びスペシャルサービサー（CSS）を、最上位の1（「完全な承認（全般的に優秀なパフォーマンス）」から5（「条件付き承認」）の五段階の基準で格付している。なお、各段階に対して、+（プラス）または-（マイナス）の符号を付ける場合があるが、これら+（プラス）または-（マイナス）の符号は、その段階の中でも相対的にレベルが高いことまたは低いことを示している。また、JPNの符号は日本のサービサー格付に付けられるが、当該格付が日本の法的、経済的、社会的環境と関連していることを示すものである。格付の定義など詳細については、フィッチのレポート「日本のコマーシャル・モーゲージ・サービサーの格付基準（2003年3月11日）」を参照のこと。上記レポートはフィッチのウェブサイトで開催されている（アドレスは日本語：www.fitchratings.co.jp、英語：www.fitchratings.com）。

ニッシン債権回収株式会社に関するサービサー格付分析レポート（英語および日本語）の改訂版は、近日中にフィッチの日本語ホームページに掲載される予定である。

照会先：

牛尾 宏 Tel : 03 3288 2670 E-mail : hiroshi.ushio@fitchratings.com

神谷 久春 Tel : 03 3288 2701 E-mail : hisaharu.kamiya@fitchratings.com

フィリップ・サリバン Tel : +61 2 8256 0310 E-mail : philip.sullivan@fitchratings.com

フィッチの格付の定義および格付に使用する用語は弊社のウェブサイト www.fitchratings.com/ www.fitchratings.co.jp（日本語）に掲載されています。公表された格付、格付基準、格付手法も同サイトに常時掲載されています。フィッチの行動規範、守秘義務、利害相反、関連会社間のファイアウォール、コンプライアンス及びその他の方針・手続き等も www.fitchratings.com 上の「行動規範」でご覧いただけます。